

2022年 シラバス

履修規定	必修課目	授業課目	理容実習
履修学年	1年	コース	理容科
担当教員	鞍成和恵	経歴	理容師 美容師
担当教員	濱田幸次	経歴	理容師 美容師
授業時間数	365	授業方法及び場所	実習 校内

1. 教科・科目の目標（到達目標）

- ・理容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具及び布片の消毒等の適切な実施方法を身につけさせること。
- ・各技術の理論並びに意義を理解し、将来に役立つ技術として『導入』『展開』『まとめ』を身につけると共に、これらの技術を総合的に習得させる。
- ・個々の客の要望に応じた理容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身につけさせること。

2. 学習内容

- ・理容技術理論科目と連動して、用具類の取扱い及び手入れ方法を学ぶ。
- ・主に基本的な姿勢、技術（DVD活用）
- ・職業訓練の技術としてシャンプーイングからセッティング技術の習得を目指す。

3. 学習方法

- ・理容師国家試験課題（第1・第2）については、モデルウィッグを使用し、設定した時間に技術の習熟度を合格時レベルに到達するように鍛錬する。
- ・各技術において、基本的姿勢、技術、技法を身につける為、モデルウィッグ、もしくは相モデルでの基本実習を反復的に行う。
- ・講義形式を基本とし、国家試験に向けた演習授業も適宜取り入れる。

4. 学習評価

- ・項目ごとに、到達ライン（時間、手順）を設定し評価する。
- ・用具類に『知識』『持ち方』『操作』の技術習得を評価する。
- ・実習態度、出欠状況を評価する。

教科書	理容実習1・理容実習2 理容技術理論1・理容技術理論2 技術の解説（日本理容美容教育センター発行）	参考文献 副教材等	DVD（日本理容美容教育センター発行） オリジナルプリント 実習道具
-----	---	--------------	--

学習計画

月	学習項目	学習内容・方法
4月	教材の確認・名称 教材の取り扱い 基本姿勢	モデルウィッグによる各部名称の確認 コーム・シザーズの持ち方・取扱い方・手入れ法 基本足位・落とし腰等の訓練
5月	カッティング 理論と技法	モデルウィッグでのカット体験（ブローカット） モデルウィッグで各技法体験 （連続刈・すくい刈） コーム操作・シザーズ開閉練習）（反復訓練）
6月	デザインヘア 理論と技法	モデルウィッグによるブロッキング デザインカットの基礎技術（グラデーションカット） モデルウィッグでのカット体験
7月	シャンプーイング & リンシング ヘッドマッサージ	シャンプーイングの手順・手技（DVD活用） マッサージの手技・目的・効果 モデルウィッグ（相モデル）で各技法体験
9月 10月	シェービング 理論と技法	レザー・ひげブラシの持ち方・扱い方・手入れ法 モデルウィッグで皮膚・筋肉の理解 モデルウィッグ（相モデル）で各技法体験
11月	メンズシェービング レディースシェービング	ネックシェービング・フェイスシェービング 手順と流れ説明 （準備から終了まで計測を行う）
12月 1月	ヘアセットイング （基本セット） （ドライヤーセット）	整髪料の塗布・分髪・ブラッシング基本手技 モデルウィッグによるセットイング技術 モデルウィッグによるドライヤーセット技術 （DVD・オリジナルプリント活用）
2月 3月	カッティング・ シェービング （復習と検定）	モデルウィッグで各技法検定（時間設定） ・用具の操作検定 ・各運行姿勢検定 ・各運行の理解と技法検定